

製品名: PJA2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16174**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	PJA2
別名	PJA2; KIAA0438; RNF131; E3 ubiquitin-protein ligase Praja-2; Praja2; RING finger protein 131
遺伝子 ID	9867.0
SwissProt ID	O43164
免疫原	抗血清はヒト PJA2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

背景

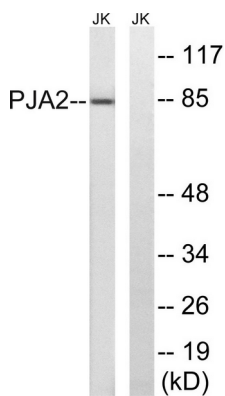
機能: E2 依存性 E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性を有する。経路: タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。類似性: 1 つの RING 型ジンクフィンガーを含む。細胞内局在: 小胞体およびゴルジ体の細胞質側に局在する。シナプスのシナプス後肥厚部領域

で発現する。、サブユニット：ユビキチン結合酵素（E2）に結合します。in vitro では、ユビキチン結合酵素 UBE2D2 と相互作用します。、機能：E2 依存性 E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性を有する。、経路：タンパク質修飾；タンパク質ユビキチン化。、類似性：1つのRING型ジンクフィンガーを含む。、細胞内局在：小胞体およびゴルジ体の細胞質側に局在する。シナプス後膜肥厚部領域に発現する。、サブユニット：ユビキチン結合酵素（E2）に結合する。in vitro では、ユビキチン結合酵素 UBE2D2 と相互作用する。、

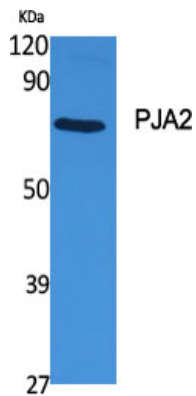
研究分野

細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアソーム/ユビキチン; ユビキチン E3 酵素; RING フィンガー E3 リガーゼ

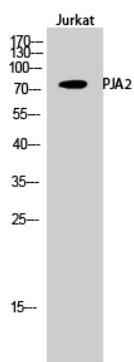
画像データ



PJA2 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



PJA2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



PJA2 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析